

議会報告会（出前） 実施報告書

実施日時	①令和6年11月18日（月） 13：30～15：00 ② 12月19日（木） 19：00～20：30 ③ 12月20日（金） 14：00～16：00		
対象団体	①敦賀保護司会 ②敦賀市防災士会 ③つるが男女共同参画ネットワーク		
会 場	①あいあいプラザ2階ふれあいホール ②松原公民館1階第1研修室 ③敦賀市立図書館3階会議室	来場者数	①21名 ②11名 ③ 8名
役割分担	それぞれの出席議員を含め、別紙1参照		

今年度も昨年度に引き続き、参集型の報告会に加え、市内3団体に対する出前形式での報告会を開催した。開催団体ごとの内容は以下のとおり。

意見交換については「みんなで考える敦賀の防災」を主テーマに実施。

1. 団体ごとの開催状況

（1）敦賀保護司会

1）報告に関する質問・意見及びその回答

質問1：ホームタウン奨学金の返還支援を受けられる条件は。ただ敦賀に帰ってくるだけでよいのか。

回答1：3種類の奨学金返還支援制度あるが、いずれも敦賀に3年間居住することで返還支援を最大受けられるような仕組みとしている。

質問2：常任委員会が3つあるとのことだが、保護司会の関係はどの委員会に属するか。

回答2：文教厚生常任委員会である。

質問3：ハラスメント条例の制定について、敦賀市議会はこれを積極的に進めていこうとする姿勢であるのか。（企業では10年ほど前からこうした動きがある、民間に遅れないように進めていただきたい）

回答3：9月議会での結論は否決となった。引き続き検討をしていく。議論は今も継続中である。

2) 意見交換

意見 1 : 更生保護について、日ごろ我々が活動していることについて議員の方に知っていただきたい。

意見 2 : 観察対象者との面接会場の不足に困っている。

意見 3 : かつて市に再犯防止条例の制定についてお願いに行ったが、その後進んでいないようである。条例ができればよい。

意見 4 : 更生保護女性会は地域福祉課から年に 4 万円いただいている。年に一回福井で活動があるときにバスを出そうとするがとてもバス代が出ない。もう少しいただけるとありがたい。市にマイクロバスはないか。美浜町は町のバスを出してもらっているようだ。そうしてもらえると運営がとても楽になる。

意見 5 : 敦賀には BBS (ビッグボーイズ&シスターズ) 会がない。大学生が主となる団体である。敦賀にも大学があるので組織されて、大学生もそうした観察対象者たちと接する機会があるとよいと思う。

意見 6 : 民生委員の方の話を聞くと非常に優遇されているように感じる。保護司会はすべて持ち出しでやっている。先立つ予算の確保についてご配慮をお願いしたい。

意見 7 : 敦賀にサポートセンターがあるが非常に狭い。かつて消防署の横 2 階を借りたいという話をしたがダメであった。会員数も多いため、広い場所をお願いしたい。美浜町は庁舎内に部屋を確保している。社会を明るくする運動も BBS も保護司会も更生保護女性会も、予算を増やしてほしい。また、美浜町は事務局を町職員が務めている。敦賀市も市で事務局を持つてほしい。

意見 8 : 保護司会や更生保護女性会の活動のサポートをお願いしたい。

(2) 敦賀市防災士会

1) 報告に関する質問・意見及びその回答

質問 1 : タブレットの導入が今年と聞いて、とても遅れているなという印象を持った。また、ユーチューブでの配信もしていないというのはなぜなのか。

回答 1 : ご指摘のとおり、遅れているということは議会側も感じている。自分たちが議員になる前からそういった議論はあったが、なかなか進まなかったのが事実。コロナ禍になって、対面ができなくなったということもあり、話が進んだ。本会議だけでなく、委員会の方も配信してこうということになり、今やっと改革が行われている状態であり、遅れているというのはその通りだと思う。

質問 2 : 報告資料の 22、23 ページの木造住宅耐震診断士派遣等業務委託料に係る耐震診断戸数について、令和 5 年度当初予算では 32 戸、令和 6 年度当初予算では 24 戸となっているが、実際に利用された実績は。

回答 2 : 令和 6 年度当初予算については執行中のためわからない。来年 9 月定例会の決算審査のときに数字が出る。令和 5 年度についても現在数字は持ち合わせていないが、能登半島地震もあり、傾向的に高まっている。

質問 3 : 市の防災担当は危機管理対策課だが、市議会で防災関係を審査するのはどこなのか。

回答 3 : 総務民生常任委員会が担当している。

質問 4 : 原子力災害について、市議会の担当は。

回答 4 : 原子力については、原子力発電所特別委員会が担当するため、総務民生常任委員会と原子力発電所特別委員会の両方でいろんなことを聞いている。

質問 5 : ふるさと納税寄附金が伸びている理由は。

回答 5 : 以前よりふるさと納税はあったが、寄付金額にかかわらず、返礼品は同じであった。金額に応じた返礼品にするべきとなり、楽天を使用し、寄付金額に応じた返礼品に変えたところ、ふるさと納税寄附金が伸びた。

2) 意見交換

意見 1 : 能登半島地震以降、敦賀市民の防災意識は上がったと思う。しかし、各地区の防災訓練・避難訓練の状況として、市の助成金を申請したのは 9 地区と聞いている。

特に北地区は地区の防災計画にも取り組んでおり、市内の防災意識向上に努めていると思う。

そういった防災意識の高い地区となるよう、「防災モデル地区」を作ってはどうかと思う。

意見 2 : 敦賀市役所には防災センターが併設されているが、1 階に少し展示があるのみ。他の場所では、防災センターは市役所とは別にあり、防災に関する体験ができたり、展示があったりする施設が多い。

敦賀市も別個で、防災について体験していただける施設を作ってはどうか。

作る場所も難しいと思うが、例えば、道の駅を作ろうという計画があると思うので、その隣に「防災ステーション」として作ってはどうか。(青森県にそういった施設がある。)

- 意見 3 : 子どもたちに防災意識を持ってもらいたい。防災士会が主となって、中学校や高校に働きかけていくことも必要かと思うが、市としても、観光面だけでなく、子どもに防災意識を持たせる働きかけをお願いしたい。
- 意見 4 : コロナ禍前は防災士の研修に行くと助成金が出た。ぜひ、助成金を復活させてほしい。難しいのであれば、防災士会に対する助成金を創設いただきたい。
- 意見 5 : 県が行っている防災士研修があり、防災士に合格した方へ防災士の入会案内を送付している。しかし合格者が 30 人ほどいても、入会されるのは 2 ～ 3 人。この研修にも助成金が使われているが、合格した方が防災士会に入会せずとも何か活動をしているのならともかく、何もしないのであれば、税金の無駄遣いではないか。こういう考えがあるということを知っていただければありがたい。
- 意見 6 : 災害が起こったときの物資の運搬はどうなっているのか。指定避難所だけでなく、集会所や公会堂にも備蓄品を備えてはどうか。
- 意見 7 : 避難所のレイアウトを作ったことがあるが、机上で考えるだけでなく、本気のシミュレーションが必要と感じた。
- 意見 8 : 嶺南地区は原子力発電所があり、原子力防災は重要である。原発のある美浜町では、新庄からマキノに抜けるトンネルを作り、避難道路とするように、期成同盟会を立ち上げ、美浜町長が会長になって活動している。敦賀市にもそういった動きがあるのか、分かる範囲で教えてほしい。
- 意見 9 : 奈良県生駒市と防災の交流会があり、講演で「原子力防災」をテーマにして話を聞いた。質疑の際に、「なぜ事故が多発するのに原子力発電所はなくなるのか」という話があった。原発の立地地域でないと抵抗感があるんだなと思った。そういった生の声も聴いてほしい。
- 意見 10 : 防災に関しては、各区長に意識があっても行動がないように感じている。防災のモデル町内を作ってそこが中心に動くといい。
- 意見 11 : 能登半島地震の際に、避難渋滞が起こったという話を聞いた。他にも、能登半島地震の際に起こったことなどを振り返って教訓を得る機会があったのか。
一般質問でも議員から防災に関して質問があり、いろんな課題が出たと思う。それらを踏まえて、敦賀市として、結果や対策はまとめないのか。またまとめるというのはいつ頃になるのか。どういった課題があり、どう改善されたかを、市民はほとんど知らないと思う。総括して、市民に向け、公表してほしい。

意見 12：福井新聞に県内各市町の議会の報告が掲載されるが、敦賀市は少ないと思う。もっとPRして記事にしてもらえば、興味を持ってもらうきっかけになると思う。

(3) つるが男女共同参画ネットワーク

1) 報告に関する質問・意見及びその回答

質問 1：一般質問に至る前段の委員会でのやりとり、プロセスを知りたい。

回答 1：委員会で重要なことが話し合われることは事実。委員会も受付で名前を書くだけで傍聴できる。予算決算常任委員会は令和 7 年度からYouTubeで見られるようになる。そのほかの委員会は同じ日に開催しているので一度に放映するのは現状では難しいが、皆さんの要望が多ければ、放映も可能かもしれない。

質問 2：敦賀のふるさと納税は約 80 億円あり、このうち 40 億円は自由に使える。敦賀は余裕がある市なのではと考えるが、一方で補助金を減らさなければならないなどの厳しい現実もある。そのギャップを説明してほしい。

回答 2：清掃センターや学校給食センターなど公共施設の建て替えや維持管理などで相当な費用がかかってくる。市長の説明では、継続的にお金がかかることにふるさと納税を充てたくないが、一般財源が 10 億円ほど不足しているので回している厳しい状況だ。

2) 意見交換

意見 1：防災訓練に参加しないと、防災の意義は分からない。もっと頻繁に町内などで訓練を実施してもらいたい。

意見 2：小学校 4 年生の時に淀川（大阪）の支流が氾濫して、翌日には乾パンなどの防災グッズが配給された。すごく昔だったのに、迅速だった。敦賀市はそういう対応はできているのか。

意見 3：防災に対する目論見について市がどういうふうに細かい提言をしてくれるのか期待している。

意見 4：敦賀は今大きい災害がないから市民ものんびりしているかも分からない。痛切に感じていないのではないか。

意見 5：防災訓練でテントやトイレの立て方などを勉強させてもらった。みなが行くような宣伝の仕方、必ず行きましょうというふうになれば、防げることは何十%もあるのではないかと思う。

意見 6：女性のいろいろな活躍の場を作らなければならないといってもそれほど増えていない。議員の皆さんも男女共同参画についてもっと関心を深め、取り上げてほしい。

意見 7：災害対策、防災で、（市の）防災体制の中に（正規の）女性職員が誰もいないから 1 人配置されたが、少ないのではないか。

意見 8：女性職員、女性リーダーが配置されない避難所はい多いのではないかと思う。女性が配置され、活躍できるような仕組みができている防災対策を作るべきではないか。

意見 9：少子高齢化はお金の問題ではない。何人子供を産んだからお金をもっと出しますという意見はしてほしくない。

意見 10：不審者が多い世の中で、防犯カメラがどこに設置してあるのか、気になっている。

2 アンケート結果
別紙 2 のとおり。

以 上

敦賀市議会議長 中 野 史 生 殿

令和 7 年 2 月 1 2 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 1 0 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 川 端 耕 一